



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年10月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東
 コード番号 4921 URL <http://www.fancl.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)島田 和幸
 (役職名)取締役執行役員 (氏名)石神 幸宏 TEL 045-226-1200
 問合せ先責任者 グループサポートセンター長
 四半期報告書提出予定日 2018年11月13日
 配当支払開始予定日 2018年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	60,288	16.3	7,082	89.6	7,172	86.6	4,850	95.1
2018年3月期第2四半期	51,857	12.3	3,736	—	3,843	—	2,485	△35.8

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 4,829百万円 (95.6%) 2018年3月期第2四半期 2,468百万円 (△33.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	76.23	75.28
2018年3月期第2四半期	39.27	38.84

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	95,163	78,662	81.9
2018年3月期	92,380	75,597	81.0

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 77,942百万円 2018年3月期 74,805百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2019年3月期	—	30.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	15.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有
 2018年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭
 2018年3月期期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 特別配当 12円00銭

(注) 2018年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。
 2019年3月期(予想)の1株当たりの年間配当金は、当該株式分割を考慮した額を記載しています。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	122,000	11.9	12,200	44.4	12,300	42.2	8,400	35.7	66.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施する予定であります。
 2019年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮した額を記載しています。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	65,176,600株	2018年3月期	65,176,600株
② 期末自己株式数	1,488,279株	2018年3月期	1,610,007株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	63,628,409株	2018年3月期2Q	63,289,011株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内需要が堅調に推移したことに加え、インバウンド需要の寄与により、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が大幅な増収となり、全体では60,288百万円(前年同期比16.3%増)となりました。営業利益は、宅配運賃の値上げによる物流コストの上昇や、業績向上に伴う人件費の増加があったものの、増収効果による売上総利益の増加などにより、7,082百万円(前年同期比89.6%増)となりました。経常利益は7,172百万円(前年同期比86.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,850百万円(前年同期比95.1%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 化粧品関連事業

売上高

化粧品関連事業の売上高は、35,001百万円(前年同期比11.4%増)となりました。

	2018年3月期 前第2四半期連結累計期間		2019年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	24,142	76.8	27,602	78.9	14.3
アテニア化粧品	5,290	16.8	5,647	16.1	6.7
boscia(ボウシヤ)	1,562	5.0	1,410	4.0	△9.8
その他	428	1.4	341	1.0	△20.2
合計	31,424	100.0	35,001	100.0	11.4

	2018年3月期 前第2四半期連結累計期間		2019年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	12,950	41.2	13,100	37.4	1.2
店舗販売	11,436	36.4	14,210	40.6	24.3
卸販売他	3,197	10.2	3,793	10.9	18.6
海外	3,839	12.2	3,897	11.1	1.5
合計	31,424	100.0	35,001	100.0	11.4

ファンケル化粧品は、限定デザインボトルを発売した「マイルドクレンジング オイル」や基礎化粧品などの主力製品の好調に加え、マチュア世代向け化粧品「ビューティブーク」の寄与などにより、27,602百万円(前年同期比14.3%増)となりました。

アテニア化粧品は、主力の「スキんクリア クレンジング オイル」や基礎化粧品の好調などにより、5,647百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

boscia(ボウシヤ)は、前年上期の一時的な出荷集中の反動などにより、1,410百万円(前年同期比9.8%減)となりました。

販売チャネル別では、通信販売は13,100百万円(前年同期比1.2%増)、店舗販売は14,210百万円(前年同期比24.3%増)、卸販売他は3,793百万円(前年同期比18.6%増)、海外は3,897百万円(前年同期比1.5%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、売上増による生産効率の改善などにより、営業利益は5,929百万円(前年同期比36.6%増)となりました。

② 栄養補助食品関連事業

売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、21,977百万円(前年同期比28.9%増)となりました。

	2018年3月期 前第2四半期連結累計期間		2019年3月期 当第2四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	6,475	38.0	6,938	31.6	7.2
店舗販売	4,767	28.0	7,523	34.2	57.8
卸販売他	4,911	28.8	6,329	28.8	28.9
海外	894	5.2	1,186	5.4	32.6
合計	17,049	100.0	21,977	100.0	28.9

製品面では、TVCMなどのプロモーションを展開した「内脂サポート」に加え、「ディープチャージ コラーゲン」、「年代別サプリメント」などが好調に推移し、増収となりました。

販売チャネル別では、通信販売は6,938百万円(前年同期比7.2%増)、店舗販売は7,523百万円(前年同期比57.8%増)、卸販売他は6,329百万円(前年同期比28.9%増)、海外は1,186百万円(前年同期比32.6%増)となりました。

営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加に加え、売上増による生産効率の改善などにより、営業利益は2,224百万円(前年同期比998.9%増)となりました。

③ その他関連事業

売上高

その他関連事業の売上高は、3,308百万円(前年同期比2.2%減)となりました。

	2018年3月期 前第2四半期連結累計期間	2019年3月期 当第2四半期連結累計期間	伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,121	994	△11.2
青汁	1,285	1,270	△1.1
その他	977	1,042	6.7
合計	3,383	3,308	△2.2

営業損益

損益面では、減収による売上総利益の減少などにより、166百万円の営業損失(前年同期は58百万円の営業利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて2,783百万円増加し、95,163百万円となりました。この要因は、流動資産の増加2,786百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加593百万円、商品及び製品の増加666百万円および原材料及び貯蔵品の増加1,060百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて282百万円減少し、16,500百万円となりました。この要因は、流動負債の減少291百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少1,969百万円と、未払法人税等の増加1,189百万円および賞与引当金の増加324百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて3,065百万円増加し、78,662百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加4,850百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少1,843百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から0.9ポイント上昇し、81.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」といいます。)は36,836百万円となり、前連結会計年度末より194百万円増加いたしました。

当第2四半期連結累計期間の各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は3,767百万円(前年同期は3,783百万円の収入)となりました。この内訳の主なものは、税金等調整前四半期純利益6,937百万円および減価償却費1,428百万円などによる増加と、たな卸資産の増減額1,784百万円およびその他の流動負債の増減額1,936百万円などによる減少であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,760百万円(前年同期は1,087百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、有形固定資産の取得による支出1,441百万円および無形固定資産の取得による支出418百万円などによる減少であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,804百万円(前年同期は1,359百万円の支出)となりました。この内訳の主なものは、配当金の支払額1,840百万円などによる減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、2018年7月30日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,641	36,836
受取手形及び売掛金	13,791	14,384
商品及び製品	4,109	4,776
仕掛品	21	66
原材料及び貯蔵品	4,169	5,230
その他	965	1,191
貸倒引当金	△155	△154
流動資産合計	59,543	62,330
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	27,402	27,696
減価償却累計額及び減損損失累計額	△15,665	△16,025
建物及び構築物（純額）	11,736	11,670
機械装置及び運搬具	8,541	8,917
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,831	△7,091
機械装置及び運搬具（純額）	1,709	1,825
工具、器具及び備品	8,204	8,478
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,088	△7,150
工具、器具及び備品（純額）	1,116	1,327
土地	11,607	11,839
リース資産	301	282
減価償却累計額及び減損損失累計額	△170	△184
リース資産（純額）	131	98
その他	302	221
有形固定資産合計	26,603	26,982
無形固定資産		
その他	2,465	2,123
無形固定資産合計	2,465	2,123
投資その他の資産		
投資有価証券	126	176
その他	3,641	3,549
投資その他の資産合計	3,768	3,726
固定資産合計	32,836	32,832
資産合計	92,380	95,163

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,025	3,090
未払法人税等	1,230	2,420
賞与引当金	1,343	1,667
ポイント引当金	1,576	1,672
資産除去債務	-	2
その他	8,248	6,279
流動負債合計	15,424	15,132
固定負債		
退職給付に係る負債	703	706
資産除去債務	409	405
役員賞与引当金	-	26
その他	245	229
固定負債合計	1,358	1,368
負債合計	16,782	16,500
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	54,796	57,781
自己株式	△2,338	△2,165
株主資本合計	74,959	78,117
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	89	63
退職給付に係る調整累計額	△243	△238
その他の包括利益累計額合計	△154	△175
新株予約権	791	720
純資産合計	75,597	78,662
負債純資産合計	92,380	95,163

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)
売上高	51,857	60,288
売上原価	15,028	17,163
売上総利益	36,829	43,124
販売費及び一般管理費	33,092	36,041
営業利益	3,736	7,082
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	0	0
受取賃貸料	51	52
為替差益	6	13
雑収入	78	53
営業外収益合計	138	121
営業外費用		
固定資産賃貸費用	17	17
貸倒引当金繰入額	1	0
雑損失	13	13
営業外費用合計	32	32
経常利益	3,843	7,172
特別利益		
新株予約権戻入益	2	0
退職給付制度移行益	5	-
特別利益合計	8	0
特別損失		
固定資産除却損	3	186
減損損失	0	7
店舗閉鎖損失	83	33
その他	1	7
特別損失合計	89	234
税金等調整前四半期純利益	3,762	6,937
法人税、住民税及び事業税	698	2,131
法人税等調整額	578	△43
法人税等合計	1,276	2,087
四半期純利益	2,485	4,850
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,485	4,850

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,485	4,850
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△41	△25
退職給付に係る調整額	24	4
その他の包括利益合計	△17	△20
四半期包括利益	2,468	4,829
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,468	4,829
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,762	6,937
減価償却費	1,368	1,428
減損損失	0	7
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	24	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	263	324
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	-	26
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	3	96
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△728	10
受取利息及び受取配当金	△2	△2
為替差損益 (△は益)	△7	△5
固定資産除却損	3	186
店舗閉鎖損失	83	33
新株予約権戻入益	△2	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,436	△596
たな卸資産の増減額 (△は増加)	11	△1,784
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△25	△227
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	4	87
仕入債務の増減額 (△は減少)	347	66
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	377	△1,936
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△2	-
その他	△105	△40
小計	3,938	4,610
利息及び配当金の受取額	2	2
法人税等の支払額	△840	△845
法人税等の還付額	683	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,783	3,767

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△755	△1,441
有形固定資産の売却による収入	3	0
無形固定資産の取得による支出	△393	△418
投資有価証券の取得による支出	-	△49
貸付金の回収による収入	-	50
その他の支出	△66	△61
その他の収入	124	161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,087	△1,760
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	509	85
自己株式の取得による支出	△1	△5
配当金の支払額	△1,823	△1,840
その他	△44	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,359	△1,804
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	△8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,328	194
現金及び現金同等物の期首残高	31,609	36,641
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,938	36,836

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	31,424	17,049	3,383	51,857	—	51,857
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	31,424	17,049	3,383	51,857	—	51,857
セグメント利益	4,341	202	58	4,602	△865	3,736

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△865百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注)1			
売上高						
外部顧客への売上高	35,001	21,977	3,308	60,288	—	60,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	35,001	21,977	3,308	60,288	—	60,288
セグメント利益又は損失(△)	5,929	2,224	△166	7,988	△905	7,082

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△905百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。